



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(令和元年)7月5日号 No.1797

目次

■ 2018年のロシアの外国直接投資動向	1
■ 統計速報	5
2019年1～5月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／5	
2019年1～5月の日ロ貿易／6	
■ エトセトラ	7
「Beauty Fair Japan in Moscow」出展企業募集のご案内／7	
■ キーパーソン	8
カザフスタンでトカエフ政権が始動／8	
■ トピックス	10
G20大阪サミット関連のプレスリリース／10	
東京製綱がロシアで架空送電線事業本格化／12	
ヌルスルタン～東京直行便が就航／13	
NEXIが東洋エンジの石化プラント事業支援／13	
丸紅がロシアで予防医療診断センター設立へ／13	
ウズベキスタンとインフラ投資推進協力で覚書／13	
トルクメニスタンで川崎重工のGTGプラント完成／13	
ロシアとの食品輸入規制協議は継続へ／14	
OPECと非加盟国、減産9カ月延長で合意／14	

2018年のロシアの外国直接投資動向

はじめに

かつてロシアでは、ロシア連邦統計局が外国投資に関するデータを発表していたが、統計局による発表は2013年分のデータまでで打ち切れ、現在ロシアの外国投資(直接外国投資=FDI)統計の発表主体は中央銀行に一本化されている。以下では、ロシア中銀発表のロシアのFDI統計を抜粋してご紹介する。

統計局の時代と異なり、中銀が詳細なデータを発表しているのは直接投資だけであり、証券投資、その他投資は対象になっていない。対内直接投資(外国からロシアへの投資)と対外直接投資(ロシアから外国への投資)の両方が発表されているが、本稿では差し当たり前者だけを取り上げる。図表1には、各年に関しグロスの受入額(A)、償還額(B)、ネットの受入額(A-B)が示されている。

図表2～4では、ロシアのFDI受入状況を各年のネットの受入額と、2018年末時点での受入残高とで見ている。図表2では連邦管区別、図表4では産業部門別の受入動向を示した。図表3では、投資残高の多い順に国を並べたが、ケイマン諸島、ジャージーといったタックスヘイブンも資金の出入りが激しいことから、参考までに示した。日本はロシアのFDI実施国として第22位となっている。